

葬送に伴う儀礼で使用された1,200年以上前の国産陶器壺！

みやわきいせき ならさんさいこつぽ つけたりはんしゅつはじき
宮脇遺跡出土奈良三彩小壺 附伴出土師器



宮脇遺跡は、田川地区に所在する遺跡です。この奈良三彩小壺は、奈良時代（8世紀後半）の素掘りの穴から出土し、葬送に伴う儀礼で使用されたと考えられます。表面に緑色、褐色、白色のうわぐすりを使った焼き物で、1,200年以上の長い年月、土中に埋まっていたとは思えないほど、鮮やかな色彩を残しています。一緒に出土した素焼きの土器（土師器）も併せて指定しました。

市指定文化財：有形文化財（考古資料）

指定年月日：令和2年10月20日

所在地：木更津市太田2-16-2（木更津市郷土博物館金のすず）

所有者：木更津市

員数：1点

公開・非公開の別：公開
